

平成29年度 学校自己評価システムシート（埼玉県立春日部女子高等学校）

目指す学校像	伝統ある女子の進学校として、高い志を持ち、夢をあきらめない生徒の育成を目指す
--------	--

重点目標	1 意欲的な学習態度及び学習習慣を身に付けた生徒の育成 2 文武両道を目指し、何事にも全力投球する生徒の育成 3 チャレンジ精神を持ち自らの目標を達成出来る生徒の育成 4 礼儀を基本に高雅な品格と思いやりの心を持った生徒の育成 5 開かれた学校づくりを進め、地域社会及び国際社会に貢献する生徒の育成
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	【現状】 学習面については、放課後等に活用できる自習室が整備されるなど、自学自習に取り組む環境が整備されている一方で、授業に臨む態度はまだ受け身である。 【課題】 自学自習の習慣づくりに取り組み、日常の学習量の増加を図る。	①予習、復習を中心とした学習習慣を確立させる。	①自学自習の動機づけとなる学年主導の取組を行う。	①授業以外の学習時間が増加したか。			
		②授業改善に取り組む。	②授業アンケートの実施と学力向上に向けた教員研修会を実施する。	②生徒による授業評価をもとに、効果的な授業改善ができたか。			
2	【現状】 勉強に励みながら、部活動や学校行事に取り組んでいる生徒が多い。 【課題】 学習面と部活動、学校行事との両立を図る。	①学習、部活動、学校行事の全てに全力投球させる。	①部活動や学校行事を計画的に運営し、生徒が全力で取り組める環境を整える。	①部活動の加入率、継続率を高い水準で維持できたか。 ①午後7時完全下校が守れたか。			
			②隙間時間を有効に活用させる。	②隙間時間を有効的に活用し、学習量が増えたか。			
3	【現状】 大学進学等について、一般受験でチャレンジする生徒が増加している。 【課題】 安易な推薦入試に頼らず、一般受験にチャレンジする生徒の更なる増加を図る。	①具体的な進路目標を持たせる取組を充実させる。	①生徒の進路希望を的確に把握し、進路行事の充実を図る。	①生徒アンケートや面談を通して、生徒の進路希望を把握し、的確な対応ができたか。			
			②大学の一般受験に対応した取組を実践する。	②進学補習や進学模試に積極的に参加させる。	②3年生の一般受験率が70%を超えたか。		
4	【現状】 良好な人間関係を築こうとする生徒が多い一方、礼儀の基本である挨拶が出来ない生徒が目立つ。 【課題】 挨拶指導の充実を図る。	①挨拶を徹底する指導を行う。	①学校生活のあらゆる場面を通して、挨拶の指導に取り組む。	①挨拶のできる生徒が増えたか。			
5	【現状】 本校の取組について、ホームページや学校説明会、土曜公開授業等を通して、積極的に発信している。 【課題】 生徒の外向きの意識を醸成し、地域や国際社会で活躍する意識を育むため、開かれた学校づくりを積極的に進める。	①ホームページを積極的に活用する。	①情報が伝わりやすいように、ホームページのデザインを工夫する。	①ホームページのアクセス数が増加したか。			
			②生徒募集の取組を工夫改善する。	②生徒募集に関する行事に、在校生やPTAの積極的な参加を図る。	②第1回目の中学生の進路希望調査が、1.0倍を超えたか。		
			③国際教育の充実を図る。	③海外研修、外部講師、留学生の受け入れ等、国際教育の取組を積極的に発信する。	③外国語科の入試倍率が、2.0倍を超えたか。		

学 校 関 係 者 評 価			
実施日	平成	年	月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等			